

タミフル:異常行動、服用後が高率…岡山大教授ら指摘

インフルエンザ治療薬「タミフル」(リン酸オセルタミビル)について、厚生労働省の研究班(班長・広田良夫大阪市大教授)が7月に発表した解析は誤りだとの指摘が医師たちから相次いでいる。班は「タミフルを飲んだ患者は、異常行動を起こす率が飲まない患者より約1割低い」との解析結果を示したが、指摘によると「飲んだ患者の方が約5割高い」のが正しい結果という。班の解析については厚労省の安全対策調査会の作業部会が評価を検討中で、近く調査会に報告する。

班は昨年12月の「1次予備解析」でも「タミフルを飲んだ方が異常の率が約5割低かった」との結果を発表し、誤りを指摘されていた。取材に対し広田教授は「ノーコメント」としている。

指摘しているのは、津田敏秀・岡山大教授(臨床疫学)、桑和彦・熊本大准教授(睡眠医学)、浜六郎・医薬ビジランスセンター理事長(内科)ら。

調査は06年12月～07年3月、インフルエンザで医療機関を受診した患者約1万人を対象に実施。タミフル服用と、うわごと、おびえ、泣き出すなど軽い症状も含めた「異常行動」との関係を調べた。

班は「タミフル使用者」7487人のうち服用後に異常行動を起こした人を889人(11.9%)と計算。一方で「非使用者」2228人のうち、異常行動は286人(12.8%)だったとした。

しかし「非使用者」のうち99人は、実際はタミフルを飲んだが、飲む以前に異常行動を起こした患者。全く飲まなかった患者だけの人数は2129人で、異常行動は187人(8.8%)だった。99人の異常行動を、飲まなかった患者に加えたため、「非使用者」の異常の率を過大に算出したと指摘されている。

また班は「使用者」では服用以降に生じた異常行動を数え、「非使用者」では受診後の異常を数えた。受診と服用には約半日の間があるとみられ、「非使用者」の方が長期間での異常率を出したことにもなっている。

指摘を受けて、患者団体「薬害タミフル脳症被害者の会」は、解析の修正を求める文書を厚労省に送った。

厚労省医薬食品局安全使用推進室は「解析の妥当性についてはコメントできないが、班の結果でタミフル服用と異常行動の因果関係が否定されたとは考えていない」と話している。【高木昭午】

【関連記事】

[タミフル:異常行動との因果関係示す結果得られず 厚労省](#)

[タミフル:服用と異常行動、関係示す結果なし―厚労省部会](#)

[新型インフルエンザ:県が対策本部 11月に対策総合訓練も / 島根](#)

タミフル服用患者

異常行動5割高率

専門医「研究班、再び誤解析」

インフルエンザ治療薬「タミフル」(リン酸オセルタミビル)について、厚生労働省の研究班(班長 広田厚夫大阪府大教授)が7月に発表した解析は誤りだとの指摘が医師たちから相次いでいる。班は「タミフルを飲んだ患者は、異常行動を起こす率が飲まない患者より約1割低い」との解析結果を示したが、指摘によると「飲んだ患者の方が約5割高い」のが正しい結果という。班の解析については厚生労働省の安全対策調査会の作業部会が評価を機軸中で、近く調査会に報告する。

【宮本昭午】

班は昨年12月の「1」た。取材に対し広田教授「次予備解析」でも「タミフルを飲んだ方が異常行動の率が約5割低かった」との結果を発表し、誤りを指摘されている。

班長(内科)ら。調査は06年12月より07年3月、インフルエンザ

・熊本大准教授(腫瘍学)、沢六郎・医療ビジネスセンター理事(内科)ら。

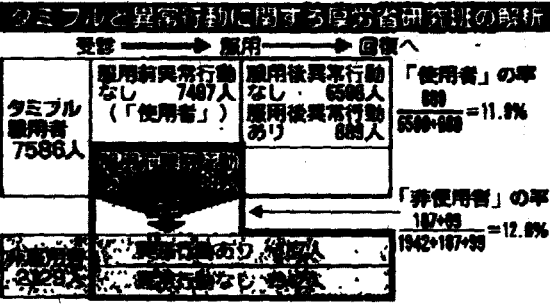
ザで医療機関を受診した患者約1万人を対象に実施。タミフル服用と「うわごと、おびえ、泣きたすなど難い症状も含めた「異常行動」との関係を探った。

班は「タミフル服用者」7487人のうち服用後に異常行動を起こした人を889人(11.9%)と計算。一方で「非服用者」2288人のうち、異常行動は286人(12.8%)だったとした。

しかし「非服用者」のうち89人は、実際はタミフルを飲んだが、飲む以前に異常行動を起した患者。全く飲まなかった患者だけの人数は2199人で、異常行動は187人(8.8%)だった。89人の異常行動を加えたため「非服用者」の率を過大に算出したと指摘された。また班は「服用者」では服用以降に生じた異常行動を数えた。だが「非使用

者」では受診後の異常行動を数えており、より長期間の異常率を出したこともあった。

津田教授らは、これらを考え誤解析し、飲んだ方が約5割、異常が多いと結果付けた。厚生労働省食品局は「解析の妥当性についてはコメントできない」と話している。



在韓被爆者 530人手

最高裁判決を受けて、在韓被爆者への手当てについて、広島市でまだ未払いとなる可能性がある。

任天堂 30日発表

8年4〜6月期連結は、営業利益が前年比31.5%増の1億9377万9千円(当期)が同33.7%増の1億2200万9千円と好調を維持した。主力の据え置き1台「Wii」(ウィー)が本体、ソフト共に伸び、急増し、



7月31日(木)
2008年(平成20年)
発行所: 大阪市北区梅田3丁目4
〒530-8251 電話(06)6345-15
毎日新聞大阪本社



News Click

ダブル世界戦、ともに防衛
ボクシング・フル
ブル世界戦で33歳
WBC王者・内藤
慶司、WBA王者
史は4度目の防衛

世界無形遺産に「祇園祭」
ユネスコが来年選定する「無形」に、文化庁は京都祇園祭など14する。全件認められる見通しで国の重要無形文化財など計300提案する。

私大 47%で定員割れ
WTO 発言力増す新
年齢別ゆかたの着こなし
26カ国が日本で五輪事前
株価・投信「7」~「10」 スポー
小説「読んであげて」 著